



ひとつひとつ、社会を変える。

HITOTSUBASHI 150th
SINCE 1875

雑誌・電子リソースの契約と JUSTICEの取り組み

2024年11月1日

令和 6年度国立大学図書館協会 東京地区協会・関東甲信越地区協会
合同フレッシュパーソンセミナー

一橋大学 学術・研究推進部 学術情報課
学術情報係（雑誌担当） 江沢 美保
ezawa.miho.b3d@ad.hit-u.ac.jp

目次

1. 自己紹介と本日の目的
2. 雑誌・電子リソース契約業務の流れ
3. 学術雑誌を取り巻く現状と課題
4. JUSTICEの取り組み

目次

1. 自己紹介と本日の目的
2. 雑誌・電子リソース契約業務の流れ
3. 学術雑誌を取り巻く現状と課題
4. JUSTICEの取り組み

自己紹介

所属		主な業務内容
2012.8 (2.5年)	学術情報課 図書情報係	洋図書の発注・受入
2015.4 (3年)	総合企画室 秘書・企画係 ※学内事務系	企画、事務局長・学長秘書
2018.4 (2年)	東京工業大学 (人事交流) 情報図書館課 利用支援グループ	閲覧、レファレンス、ガイダンス
2020.4 (3.5年)	学術情報課 情報サービス係	閲覧
2023.9～	学術情報課 学術情報係	雑誌・電子リソース契約

本日の目的

みなさんに持ち帰ってほしいこと

- 1. 雑誌・電子リソース契約の基礎**
- 2. 知っている単語をひとつでも増やす**

目次

1. 自己紹介と本日の目的
2. 雑誌・電子リソース契約業務の流れ
3. 学術雑誌を取り巻く現状と課題
4. JUSTICEの取り組み

雑誌・電子リソースとは？

冊子体

製本

エンバーゴ

バックファイル

電子ジャーナル

パッケージ契約

データベース

アーカイバルアクセス

転換契約

リンクリゾルバ

ハイブリッドOA誌

アグリゲータ



なんだか専門用語が多くていろいろ種類がある…

雑誌・電子リソースとは？

名称	内容
冊子体の雑誌	いわゆる紙の雑誌
電子ジャーナル	従来は印刷物として出版されていた雑誌を、電子メディアを用いて出版したもの。様々な契約形態がある。
アグリゲータ	複数の出版社の電子ジャーナルなどを分野別などにまとめて提供するサービス。比較的安価だが、エンバーゴが設定されている場合が多い。 エンバーゴ：出版社がジャーナル刊行後の一定期間、アグリゲータによるコンテンツ提供を禁止すること。数ヶ月～1年程度のエンバーゴが設定されている場合が多い。
データベース	大量のデータを組織化して索引などを付与し、利用者が検索して利用できるようにしたもの。買い切り型と購読型がある。 例) 文献データベース、新聞データベース、判例データベースなど
電子ブック	従来は印刷して図書の形で出版されていた著作物を、電子メディアを用いて出版したもの。

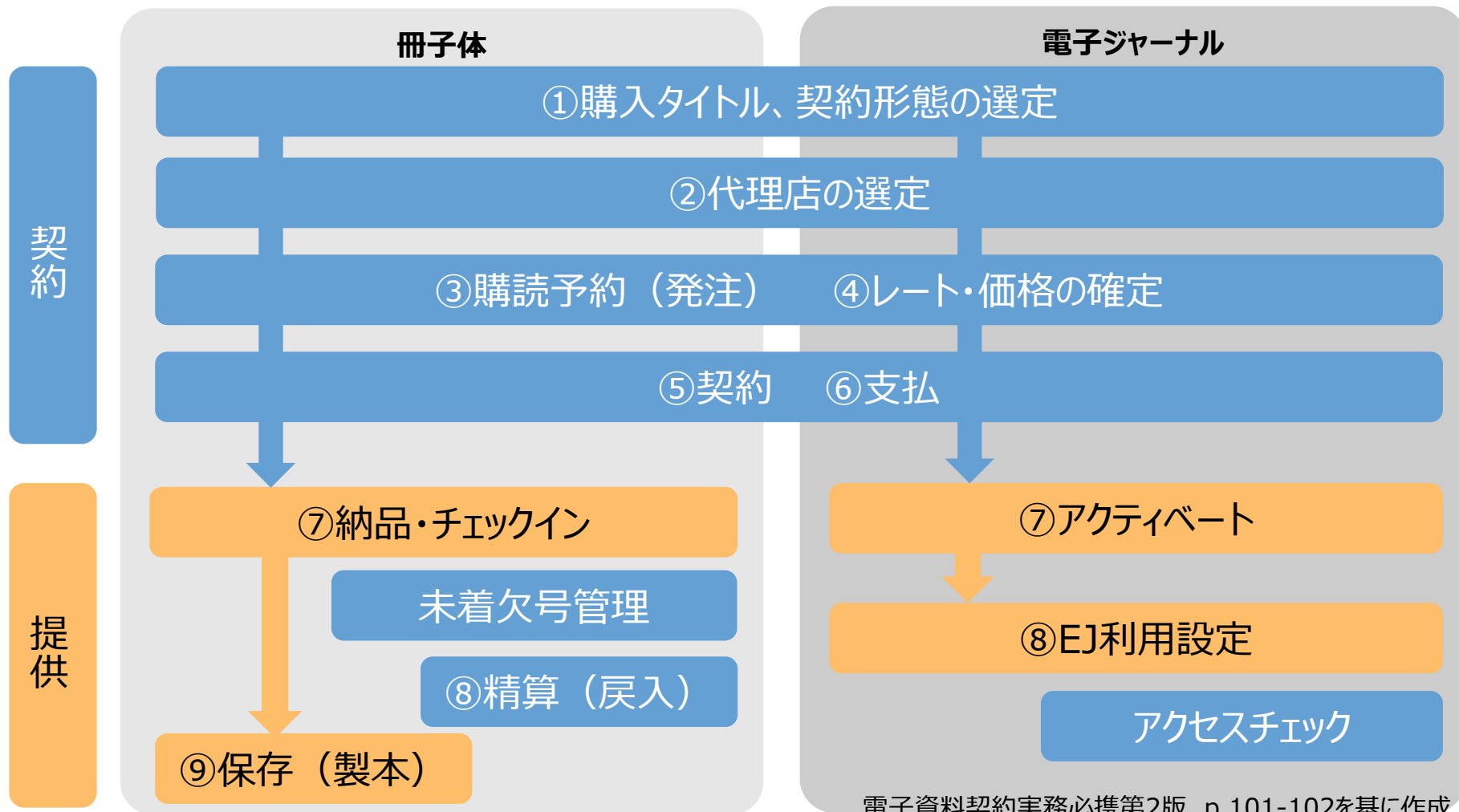
冊子と電子の比較(利用者)

冊子体（紙媒体）		電子ジャーナル
入手スピード	輸送時間などがかかる	基本的にタイムラグがない
利用場所・時間	図書館の利用条件による	図書館の外でも24時間使える
複数人の同時利用	不可	多くの場合可能
メディア・ネットワーク環境の制限	なし	あり。ネットワーク環境とパソコンなどのメディアが必要
利用に必要なノウハウ・スキル	OPACなどの目録を検索する方法	検索方法、提供ポータルの使用方法
将来的な利用の保証	手元にモノがあるため安定	コンテンツは提供側にあるため不安定
そのほか	ブラウジングがしやすい	・本文検索や他論文へのリンクアウトが可能 ・動画・音声など表現の多様性

冊子と電子の比較(図書館側)

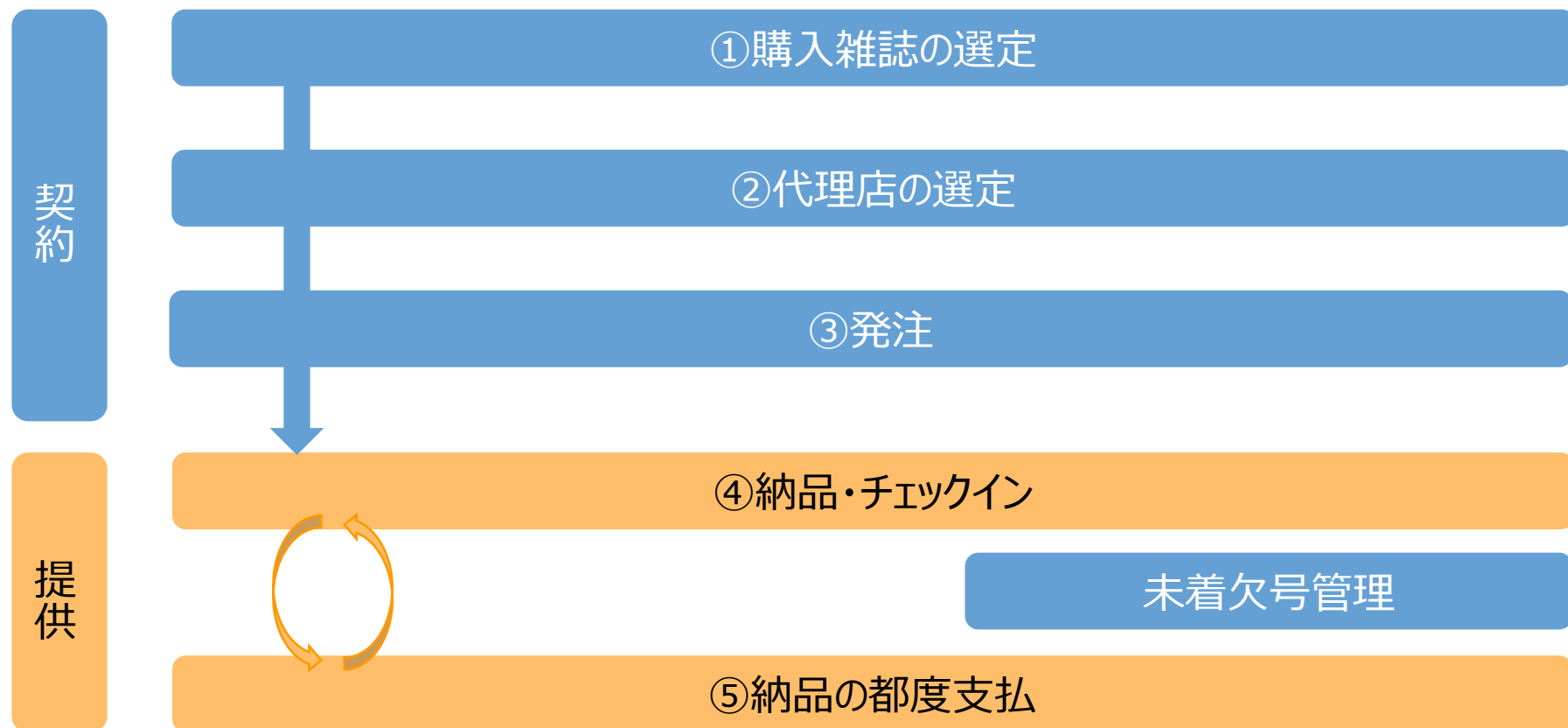
	冊子体 (紙媒体)	電子ジャーナル
受入業務	1冊ごとの受入業務が発生 欠号の督促が必要	なし。欠号も生じない。ただし、アクセス障害対応は必要。
購入単位	基本的にタイトル単位の購入	タイトル単位のほか、パッケージでの購入や論文単位での購入も可能
購入予算の出所	研究室や学科単位など、購入したいところがそれぞれ支出	パッケージを全学共通経費で購入する大学もある
物理的スペース	必要→書架の狭隘化の問題	不要
目録業務	受入ごとに所蔵を修正	毎年変更があるため、利用可能タイトル・範囲の管理が必要
利用統計	取得するのが困難	多くの場合、取得できる

外国雑誌契約(前金)の業務フロー



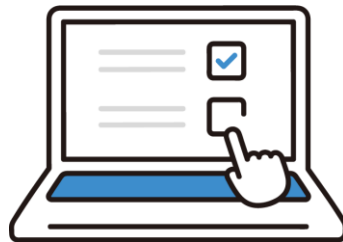
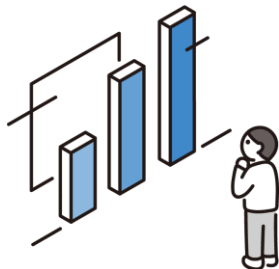
電子資料契約実務必携第2版 p.101-102を基に作成

国内雑誌契約(後金)の業務フロー



購読雑誌の選び方

予算	• 予算に見合うか？ • どの予算から支出するか？
アンケート	• 教員の声を直接集めることができる • 質問方法を工夫しないとそもそも回答率が悪い可能性がある
利用統計（新規ならトライアルで取得） ➤ アクセス数 ➤ アクセス拒否件数 ➤ ダウンロード単価（価格/DL数）	• アクセスが多い、ダウンロード単価が低いので継続する、という指標にしやすい • アクセス拒否の件数が多いので新規購読するということも考えられる



機関によって
選定方法は様々

契約形態の選び方

- 冊子か電子か（一橋の場合）
 - Print Only : 冊子体のみ
 - Include EJ : 冊子に電子が無料でついてくる
 - Combine EJ : 冊子と電子のセット
 - EJ Only : 電子のみ
- パッケージ契約か個別タイトル契約か
- 購読契約か転換契約か
- 出版社との契約かアグリゲータか

契約時に確認すること

- 契約期間（単年 or 複数年）
- 利用可能年
- 接続方式（IPアドレス登録 or ID・PW方式）
- 同時アクセス数
- リモートアクセス可否（VPN、EZproxy、学認 など）
- 利用者の範囲（Walk-in Userの利用可否）
- ILLの可否
- 契約終了後の扱い …などなど

カレントとバックファイル

【カレント】契約期間中に刊行されたコンテンツ

【バックファイル】契約期間前のコンテンツ、または冊子体のみだったものが遡って電子化されたコンテンツ

例) 契約期間：2022年から現在まで契約中

利用可能年：契約開始時点から遡って3年分のコンテンツを利用できる

契約終了後：契約期間分のコンテンツのみアーカイバルアクセスあり

1996年までのバックファイルを買切りで購入済み

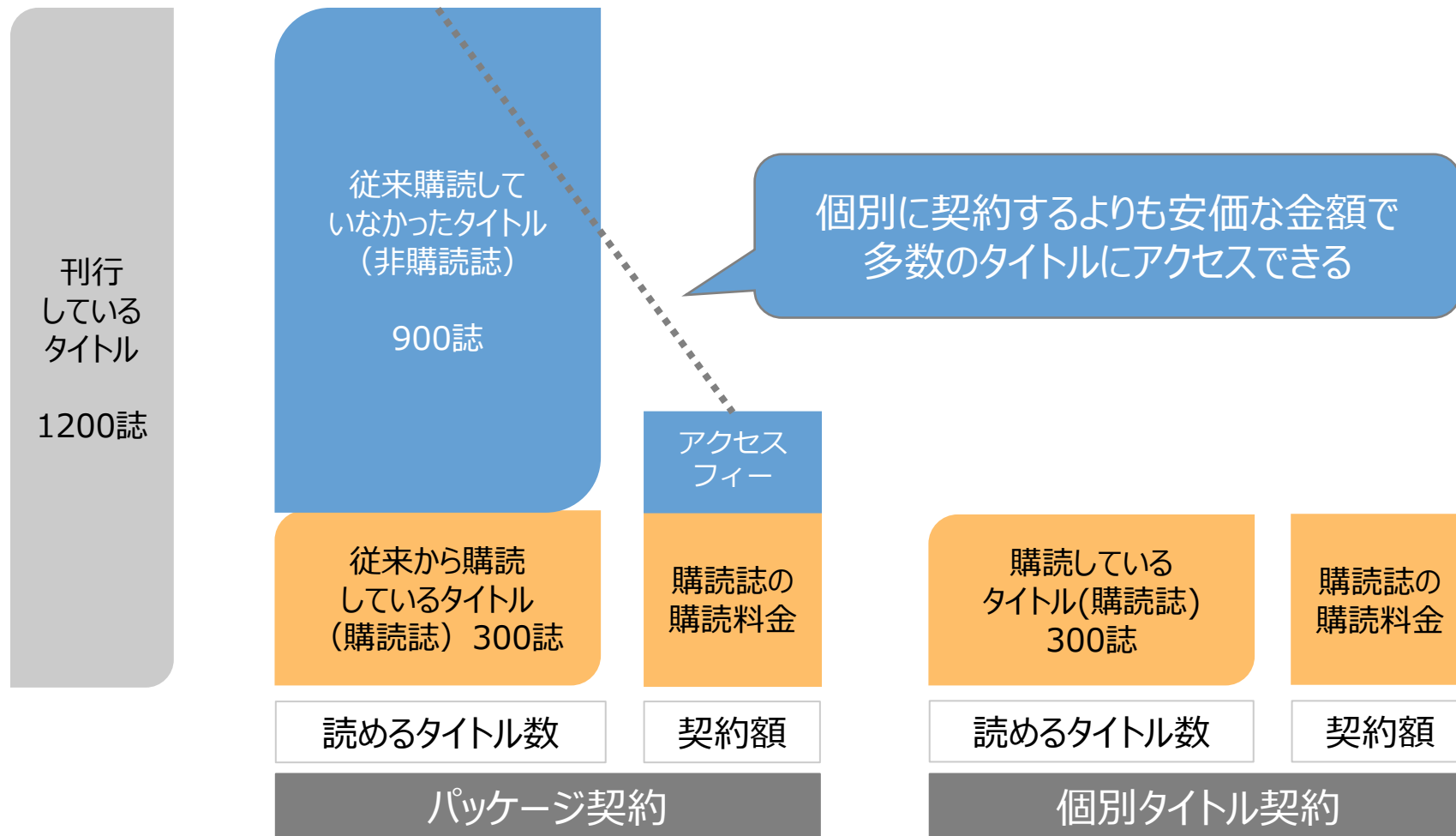
という条件の場合・・・

	創刊号～1996	1997～2018	2019～2021	2022～契約終了
契約中	バックファイルを買切りで 購入済みなのでずっと読める	読めない (別途契約が必要)	カレント契約中は読める	契約終了後も読める (アーカイバルアクセス)
中止後			読めない (別途契約が必要)	

パッケージ契約とは

- その出版社が刊行しているタイトルのすべて、もしくは大部分を利用できる契約形態。
- ビッグディール（Big Deal）契約ともいう。
- 通常、契約を開始する時点で出版社から購読していた冊子体と電子ジャーナル双方を含めた雑誌の総額をもとに契約額が算出される。

パッケージ契約とは

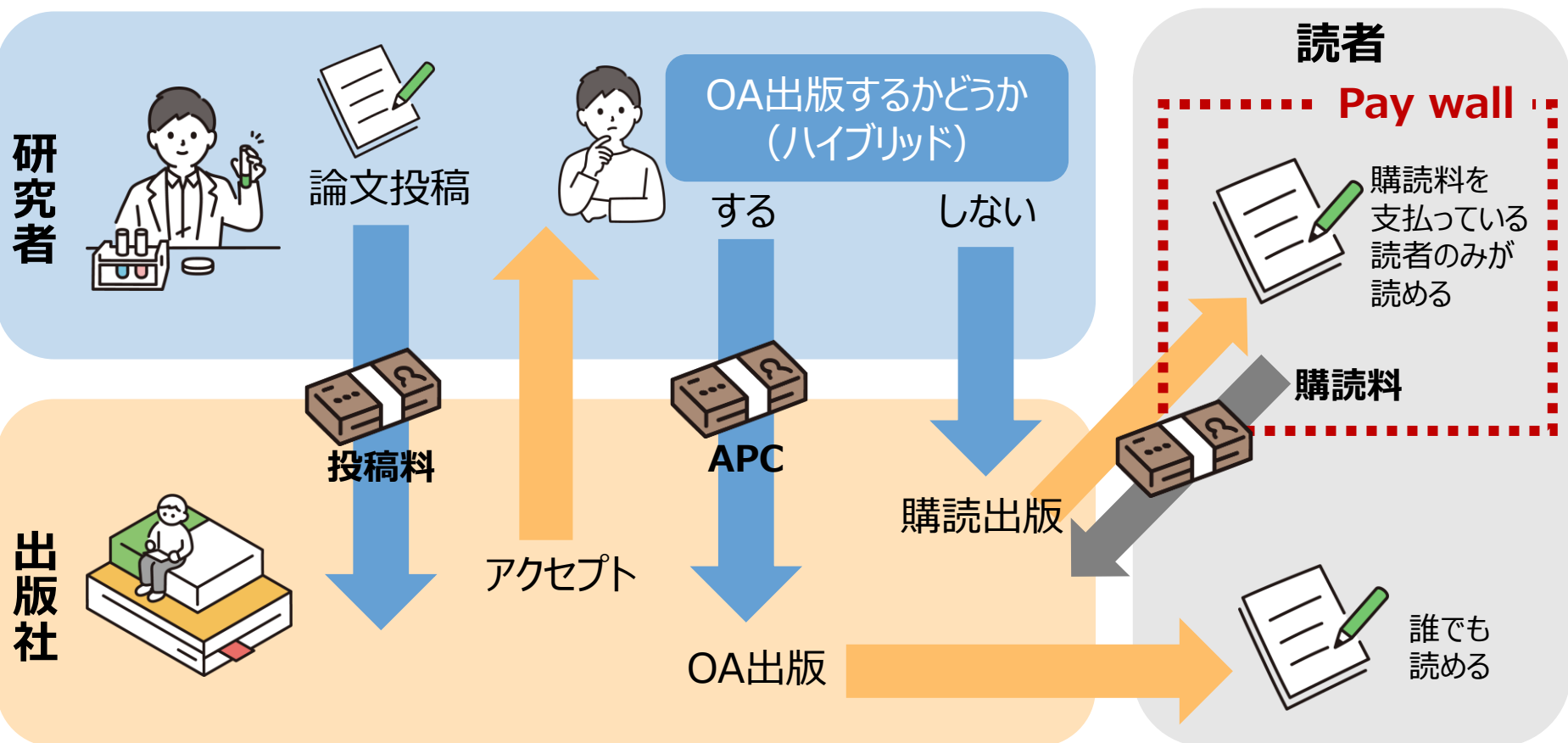


転換契約(Read & Publish)とは

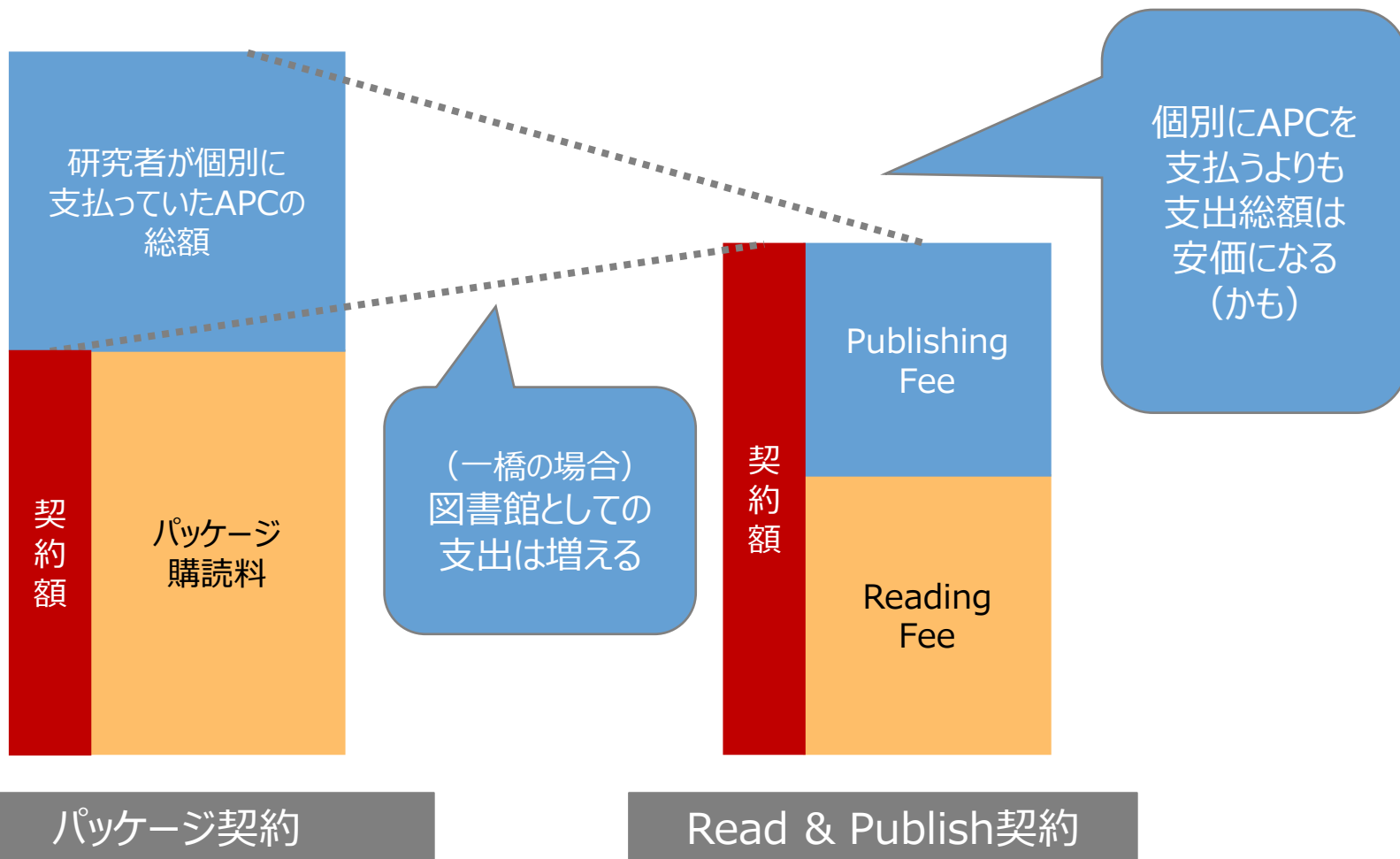
- パッケージ購読料 (Read) とオープンアクセス出版料 (Publish) をまとめて一括で支払う契約。
- 研究者が個別にAPC (Article Processing Charge : 論文掲載公開料) を支払うことなく論文のOA出版が可能になる。

APCとオープンアクセス

ハイブリッドOAジャーナルが出版されるまで（例）



転換契約(Read & Publish)とは



転換契約(Read & Publish)とは

- 本当に安価になるかは機関によって状況が大きく異なる
- 自機関でのAPC支出額の把握が必要
- 契約額が増える分をどのように捻出するか
の検討、他部署との連携が必要

アクセス環境の整備

- **Every book its reader.**

いずれの本にもすべて、その読者を。

(S.R.ランガナタン 図書館学の五法則)

- 様々な形態で契約した資料に、どのようにアクセスしてもらうか？

- A to Z リストの整備
- リンクリゾルバの設定
- リモートアクセスの設定 など

アクセス環境の整備(一橋大の例)

リンクリゾルバを設定し、ディスカバリーサービスで検索ができるようにしている。

リンクリゾルバ

利用可能なリソースの情報を管理し、利用者に適切なリソースへのリンク（ナビゲート）を提供するツール。

ディスカバリーサービス

OPACに登録されている資料、契約しているデータベースや電子ジャーナル、電子書籍などのさまざまな電子資料を一括して検索できるツール。

アクセス環境の整備(一橋大の例)



The screenshot shows the Hitotsubashi University Library website. At the top, there is a header with the university logo and name, a site search bar, and links for 'MyLibrary ログイン' and 'English'. Below the header is a navigation bar with links: '利用案内', '情報検索サポート', '組織・活動', 'お問合せ・お申込み', and '卒業生・学外の方'. The main content area features a large image of the library interior. A red arrow points to the 'ディスカバリーサービスの検索窓' (Discovery Service Search Window) in the center of the image. Below the image, there is a search bar labeled 'HERMES-Search' with a placeholder text '一橋大学の所蔵資料や電子ジャーナル・電子ブック、文献情報等を検索'. To the right of the search bar are a search button and a '詳細検索' (Advanced Search) button. Below the search bar are three buttons: '蔵書検索 HERMES-Catalog', '電子ジャーナル・電子ブックリスト', and 'データベースリスト'. At the bottom, there is a link for 'キャンパス外からのリモートアクセスについてはこちら / 一橋認証IDをお持ちでない方や学外の方はこちら'. A red arrow points to the search bar area with the text 'OPACはここ'.

一橋大学附属図書館
HITOTSUBASHI UNIVERSITY LIBRARY

Site search ...  MyLibrary ログイン  English

利用案内 情報検索サポート 組織・活動 お問合せ・お申込み 卒業生・学外の方

ディスカバリーサービスの検索窓

HERMES-Search
一橋大学の所蔵資料や電子ジャーナル・電子ブック、文献情報等を検索  詳細検索

蔵書検索 HERMES-Catalog 電子ジャーナル・電子ブックリスト データベースリスト

OPACはここ

キャンパス外からのリモートアクセスについては[こちら](#) / 一橋認証IDをお持ちでない方や学外の方は[こちら](#)

アクセス環境の整備(一橋大の例)

Hitotsubashi University Library 電子ジャーナル・電子ブックリスト ヘルプ

HERMES-Search Hitotsubashi journal of law politics

検索結果の一括エクスポート

この雑誌内を検索: hitotsubashi journal of law and politics

298 results Sorted by 適合度

1 **Hitotsubashi journal of law & politics**

01/1960 to present Coverage Details
Hitotsubashi journal of law & politics, 1960
雑誌 図書館(雑誌棟5階)製本雑誌 / 6-52 / 1968-2024 / ZMN:2 All Locations

Quick Look

2 "lura novit curia"und"Fundatam intentionem habere"als ein Niederschlag der Rezeption in Deutschland/勝田有恒 (Hitotsubashi journal of Law and Politics,Vol.13)
: 小川 浩三
法制史研究: 法制史學會年報, 1986, 号 36
雑誌論文 文献情報のみ

Quick Look

3 La Protection de l'eau en France et au Japon
Hitotsubashi Journal of Law and Politics, 2023, 卷 51
雑誌論文 文献情報のみ

Quick Look

HERMES-Link

Journal

Hitotsubashi journal of law & politics 0073-2796
Free E-Journal (出版社公開部分のみ) from 1960 to present
Freely Accessible Japanese Titles from 1960 to present

HERMES-Catalogを
図書館の最新の蔵書をお
HERMES-Catalog: Lit

らから / Search

リンクリゾルバの設定によって、
ディスカバリーサービスの検索結果
画面にナビゲーションが表示される

資料タイプ Filter

資料タイプ

雑誌論文 287
図書 / 電子ブック 7
雑誌 / 電子ジャーナル 2
書評 1
レポート 1

主題 Filter

アクセス環境の整備(一橋大の例)

e-Catalog: 全タイトル ▼ タイトル (前方一致) ▼

ExLibris a ProQuest Company

あなたのアカウント | 知識センターとオンラインコミュニティ | Submit A Case | Chat With Us | ログアウト

ホーム > データ・マネジメント > データベース詳細

National Institute of Informatics :: Freely Accessible Japanese Titles

データベース詳細

絞り込み タイトル (前方一致) Hitotsubashi

タイトル	ID	種別	ステータス	所蔵範囲	所蔵範囲 (カスタム)	OA	コレクション名
Hitotsubashi journal of arts and sciences	0073-2788	Journal	Subscribed	1960			
Hitotsubashi journal of commerce and management	0018-2796	Journal	Subscribed	1961			
Hitotsubashi Journal of Economics	0018-280X	Journal	Subscribed	1960			
Hitotsubashi journal of law and politics	0073-2796	Journal	Subscribed	1960			
Hitotsubashi journal of social studies	0073-280X	Journal	Subscribed	1960			
一橋論叢 Alt. Title: Hitotsubashi ronsō	0018-2818	Journal	Subscribed	1938 - 2006			

© Ex Libris, a ProQuest Company. Privacy Policy

契約している電子リソースのステータスを
Subscribedにすることで、
検索結果からナビゲートできるようになる

雑誌・電子リソースとは？

冊子体
S8

製本
S11

エンバーゴ
S8

バックファイル
S16

電子ジャーナル
S8

パッケージ契約
S17

データベース
S8

アーカイバルアクセス
S16

転換契約
S19

リンクリゾルバ
S24

ハイブリッドOA誌
S20

アグリゲータ
S8

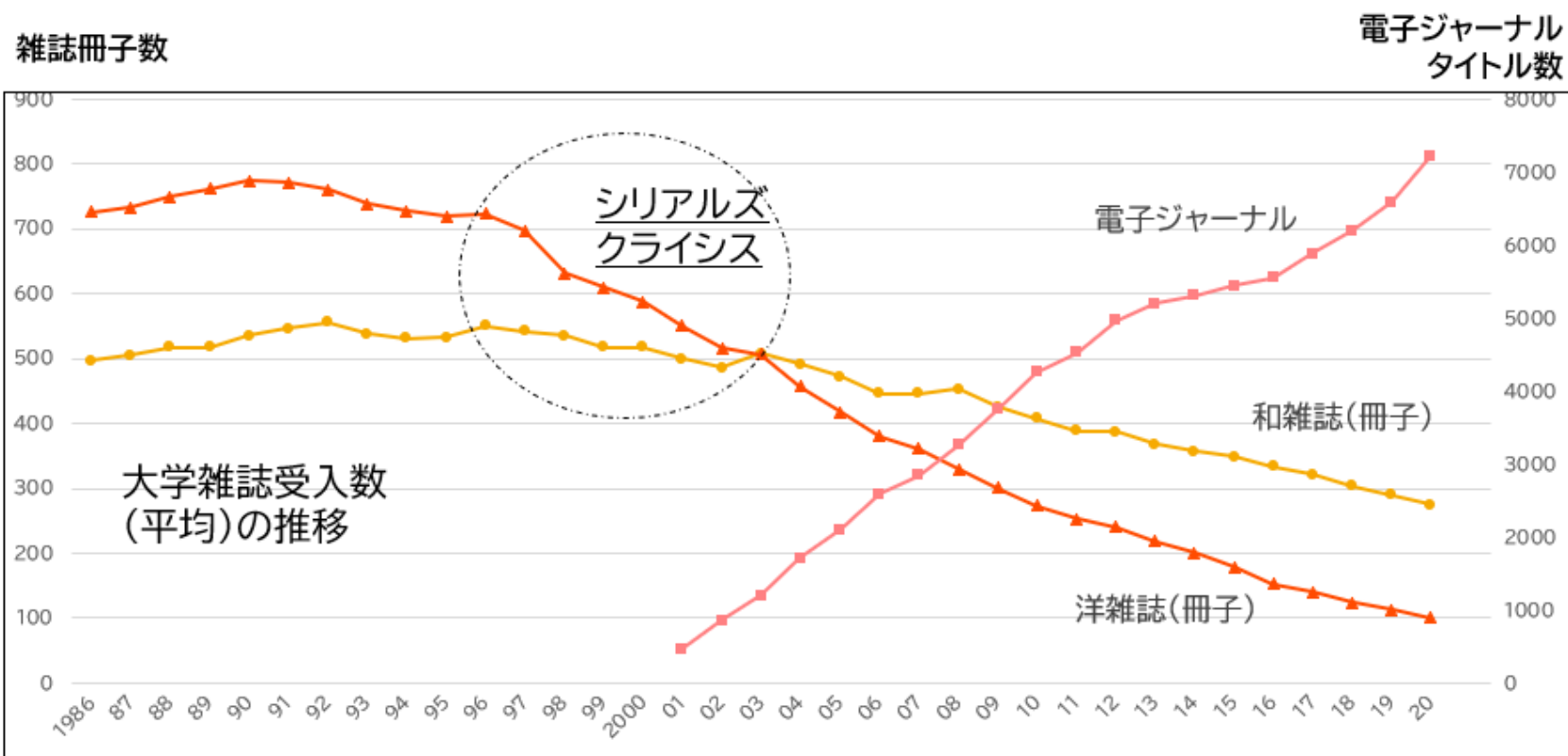


目次

1. 自己紹介と本日の目的
2. 雑誌・電子リソース契約業務の流れ
- 3. 学術雑誌を取り巻く現状と課題**
4. JUSTICEの取り組み

シリアルズ・クライシス

学術雑誌購読料の恒常的な価格上昇により、購読タイトル数が減少
北米では1980年代末から、日本では1990年代後半から顕在化した



文部科学省 大学図書館実態調査/学術情報基盤実態調査を基にJUSTICE事務局が作成

契約形態の多様化・複雑化

パッケージ契約の方が安い？

アグリゲータで事足りるのでは？

転換契約って本当にお得？

円安が
つらい

セット契約すると安くなると言われた

複数年契約の方が価格上昇率が低い



現状把握のための調査

相見積もり

先行事例のある機関に相談

JUSTICEの調査を確認



2025年即時OA義務化

2025年度から公募を行う競争的研究費について、 学術論文及び根拠データの即時OA化が義務に

公的資金のうち 2025 年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者（法人を含む）に対し、該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務づける。

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針（令和6年2月16日 統合イノベーション戦略推進会議決定）」

以下の場合、受給者が、学術論文及び根拠データを「機関リポジトリ等の情報基盤」に掲載したものとみなす。

（中略）

学術出版社等のプラットフォームに掲載された電子ジャーナル上で学術論文及び根拠データを即時オープンアクセスとした際に、資金配分機関への実績報告に学術論文及び根拠データの識別子を記載し、資金配分機関の研究課題データベース等を通じて、NII RDC 上で学術論文及び根拠データを検索可能とした場合

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策（令和6年10月8日改正 関係府省申合せ）」

目次

1. 自己紹介と本日の目的
2. 雑誌・電子リソース契約業務の流れ
3. 学術雑誌を取り巻く現状と課題
4. JUSTICEの取り組み

JUSTICEとは？

- 正式名称：大学図書館コンソーシアム連合
Japan Alliance of University Library Consortia
for E-Resources
- 電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進している
- 2011年4月1日発足
- 2024年10月1日現在の会員館数は560館

JUSTICEウェブサイトより（最終アクセス：2024/10/21） <https://contents.nii.ac.jp/justice/overview>

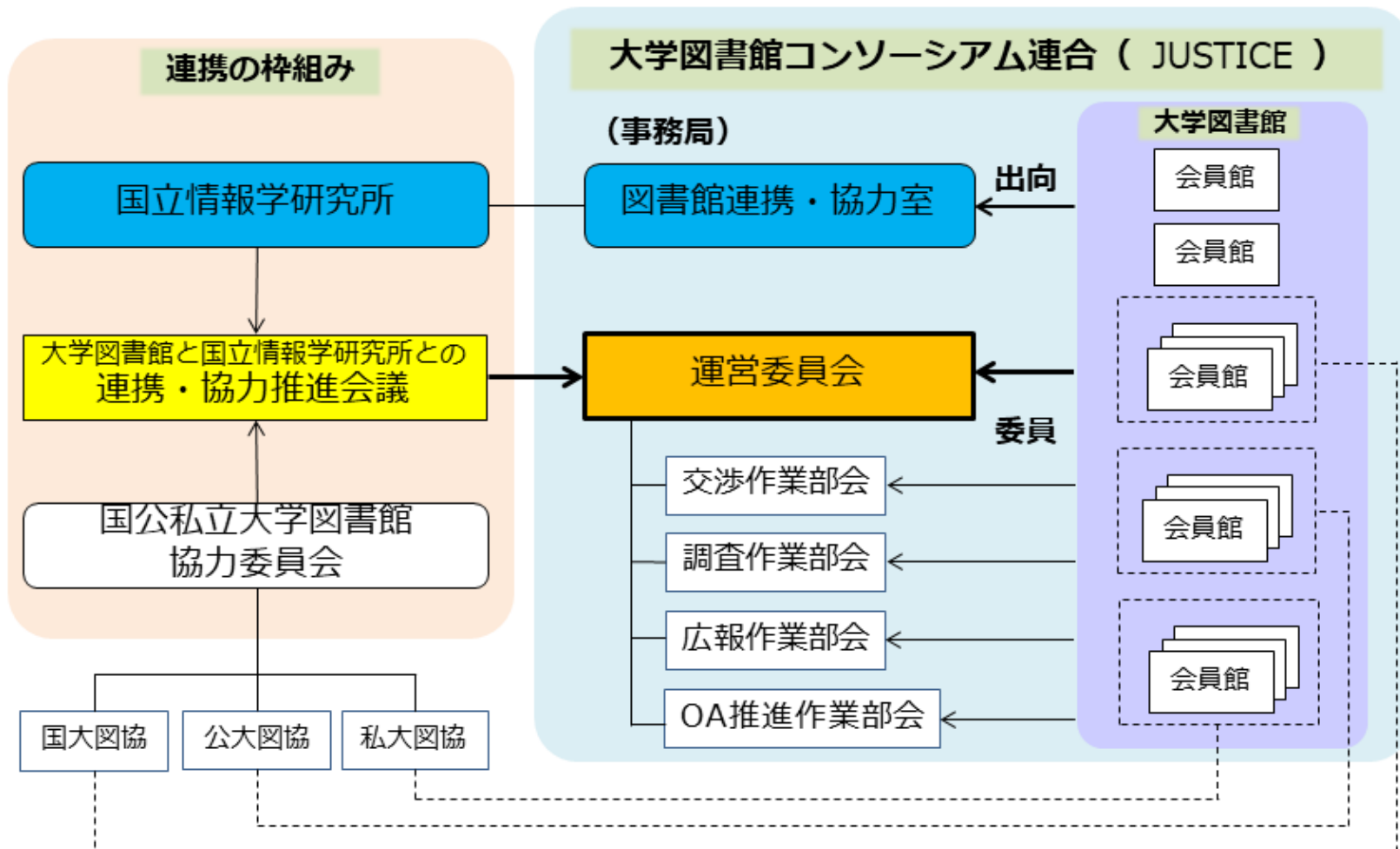
JUSTICEの目的

- JUSTICEは、電子ジャーナル等の電子リソースに係る契約、管理、提供、保存に係る総合的な活動や、それらの業務に携わる人材の育成等を通して、わが国の学術情報基盤の整備に貢献することを目的としています。

JUSTICEの事業

- 出版社等との交渉を通じた電子リソースの購入・利用条件の確定
- 電子ジャーナルのバックファイルや電子コレクション等の拡充
- 電子リソースデータ共有サービス
- 電子リソースの長期保存とアクセス保証
- 電子リソースに関わる図書館職員の資質向上

JUSTICEの組織



作業部会

- 交渉作業部会
 - － 出版社等との交渉
- 調査作業部会
 - － 会員館を対象とした調査の企画・実施
- 広報作業部会
 - － 広報誌『jusmine』の発行、広報用資料の企画
 - － 会員館職員の資質向上のための企画
- OA推進作業部会
 - － オープンアクセスに関する国内外の情報収集及び会員館への情報提供
 - － OA出版モデルに関するJUSTICEの方針等の点検及び評価

学術雑誌を取り巻く課題に対して

課題	JUSTICEの取り組み
雑誌価格の高騰	• 出版社との交渉
契約形態の多様化、複雑化	• 契約状況調査・論文公表実態調査の実施・報告 • 各大学の事例の情報を提供 • 学内説明資料素材集の作成
2025即時OA対応	• 国内外の事例収集・会員館への提供 • OA啓発・説明資料の提供

おわりに

- 学内の状況をしっかり調査しよう
 - － 研究者に何が必要とされているのか？
 - － 他部署（特に財務・研究支援）とも連携を
- 常にアンテナを張ろう
 - － メリットのあるサービス・提案・契約条件はあるか？
- 他機関と連携を取ろう
 - － 研修やセミナーで得たご縁を大切に

参考資料

- JUSTICEウェブサイト
<https://contents.nii.ac.jp/justice/org>
- 電子資料契約実務必携 第2版
 - 会員館ページへのアクセスは各機関の雑誌担当へ
- カレントアウェアネス・ポータル
<https://current.ndl.go.jp/>
- 保坂睦. はじめての電子ジャーナル管理. 日本図書館協会. 2017
- 柴田育子, 尾城友視. 一橋大学附属図書館ディスカバリーサービス改修事例報告. 一橋大学附属図書館研究開発室年報(9). 2021. p.1-17
<https://doi.org/10.15057/71591>